

年次有給休暇 を取得しましょう！

年次有給休暇を活用して大道芸ワールドカップを見に行こう！！



Work Life Balance ワーク・ライフ・バランス



秋は祝日や所定休日に年次有給休暇をからめて、長期休暇を取得してリフレッシュ。地域のイベント参加、施設利用、家族とふれ合う時間、自分のための時間をつくるなど仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現をはかりましょう。

厚生労働省は、静岡市と連携を図りながら、地域における休暇取得推進の働きかけをおこなう「地域の特性を活かした休暇取得促進のための環境整備事業」を行っています。



どこに行っても
「わくわくドキドキ」するまち
まちは劇場 静岡市

計画的な連続休暇取得のススメ

11月は年次有給休暇を
祝日に絡めて、連続休暇
を取得しましょう！！



ワーク・ライフ・バランス
シンポジウム開催日

11	November						2017
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	
				1	2 文化の日	3	4 大倉組ワールドカップ結核
5	6 年休	7	8	9	10	11	
12	13	14	15	16	17	18	
19	20	21	22 年休	23 勤労感謝の日	24 年休	25	
26	27 年休	28	29	30			

平成29年度地域の特性を活かした休暇取得推進のための環境整備事業（静岡市）

問い合わせ先 厚生労働省委託事業実施機関 日本プロフェッショナル・キャリア・カウンセラー協会

静岡市葵区御幸町8-1 JADEビル6F TEL054-252-2110

年次有給休暇とは？

年次有給休暇は法律で定められた労働者に与えられた権利です！

労働基準法において、労働者は、

1 半年間継続して
雇われている

2 全労働日の8割以上
出勤をしている

この2点を満たしていれば年次有給休暇を取得することができます

正社員・パートタイム労働者などの区分に関係なく一定条件を満たしていれば年次有給休暇が付与されます。

年次有給休暇の付与日数

通常の労働者の付与日数

勤続年数	0.5	1.5	2.5	3.5	4.5	5.5	6.5以上
付与日数	10	11	12	14	16	18	20

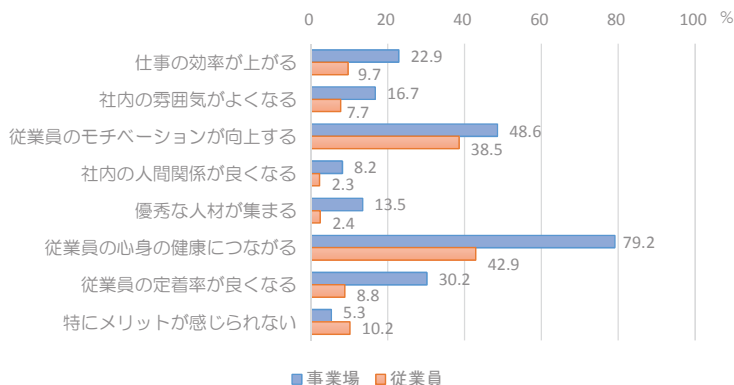
週所定労働日数が4日以下かつ週所定労働時間が30時間未満の労働者の付与日数

付与日数	週所定労働日数	1年間の所定労働日数※	継続勤務年数						
			0.5	1.5	2.5	3.5	4.5	5.5	6.5以上
4日	4日	169～216日	7日	8日	9日	10日	12日	13日	15日
3日	3日	121～168日	5日	6日	6日	8日	9日	10日	11日
2日	2日	73～120日	3日	4日	4日	5日	6日	6日	7日
1日	1日	48～72日	1日	2日	2日	2日	3日	3日	3日

※週以外の期間によって労働日数が定められている場合

年次有給休暇を取得することのメリットは？

従業員が年次有給休暇を取得することのメリット（複数回答）



平成28年度事業場アンケート結果より

昨年度のアンケートで、静岡市内の休暇の現状と今後の方向性について調査しました！

「従業員が年次有給休暇を取得する事のメリット」は、
「従業員の心身の健康につながる」
「従業員のモチベーションが向上する」
が多く、事業場、従業員の認識は概ね共通しています。

年次有給休暇を活用して私たちの地域を満喫しましょう！

市内には観光、ホビー、アクティビティなど楽しめる場所がたくさんあります

地元のイベントのほかに休暇を利用して地域を満喫しましょう。静岡市内にはここにある以外にもリフレッシュできる場所がいっぱいあります。



南アルプス



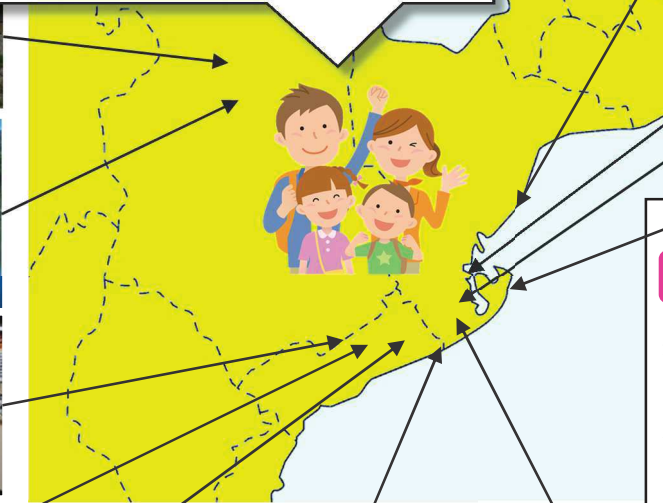
井川湖



ホビースクエア



タミヤサーキット



静岡市立日本平動物園



久能山東照宮



日本平 山頂
赤い靴母子像



薩埵峠からの展望



エスパルス
ドリームプラザ



J1 スタジアム日本平



三保の松原

お知らせ

ワーク・ライフ・バランス シンポジウム

日時 平成29年11月13日(月)13:00～17:30
場所 グランシップ 6階 交流ホール・展示ギャラリー
定員 200名 ※入場無料

(第1部 採用力向上セミナー講師 長崎一朗・事業主対象)
第2部 ワーク・ライフ・バランスシンポジウム

- ・基調講演 安藤哲也
(ファザーリングジャパン理事長)
- ・交流会ワールドカフェ
ファシリテータ静岡県立大学教授大塚協太
- ・懇親会(自由歓談、名刺交換)

事業主・従業員・一般・学生・保護者
どなたでもご参加ください

詳しくは <http://www.jinzai-support.com>

主催 厚生労働省 静岡労働局 静岡市 (株)静岡新聞社